

新人研修で「心に残った看護体験」を語りました



メッセージカード

入職してから6ヶ月が経ちました。みんなそれぞれ部署で、嬉しいこと、悲しいこと、納得がいかないことなど、いろいろな経験をしてみました。今回の研修では、3名のグループに分かれてそれぞれの体験を交えて話し合い、各部署で経験したこと、自分自身として疑似体験できるように共有しました。各部署から様々な感想が出る中で、とても印象に残った言葉がありました。それは、「部署は違って経験が違ってても根本にあるのは、患者さま、ご家族に対する看護の視点であるということだと思います。」という言葉です。

発行人
看護部長室

看護部長からひとこと

そろそろ来年度入職の職員を迎えるための準備を始めようという時期になりました。毎年、看護部では15名程度の看護職員と、看護師を目指す看護補助者2名ほどを迎えます。それと同時に、院内研修の内容も考えます。ラダーに応じた内容、生涯教育学習ガイドラインに沿って計画を行います。どんな内容だとみんな研修を楽しんで受講してくれるかとワクワクします。みんなが研修を楽しみながら成長できるように、しっかりとサポートしていきます。

みんなのアンケート

先日の急変時対応の研修の中で、新人看護職員に「急変時に難しいと思うこと」を聞いてみました。1位は優先順位を考える事、2位は医師への報告、3位は観察項目でした。今回の研修では、急変時対応もですが、急変を起さないかわりに、起さなくても多く事を学びました。

部署の自慢 2C病棟

1位

スタッフみんな明るく看護している

2位

患者さんのケアだけでなくなんでも協力的

3位

ママさんナースが多いから？患者さんにもスタッフ同士にも物腰が柔らかい

2C病棟は

地域包括ケア病棟です。急性期治療を終了し、直ぐに在宅や施設へ移行するには不安のある患者さまが在宅復帰に向けて診療、看護、リハビリを行なうことを目的とした病床です。

11月のお知らせ

専門領域研修・新人研修で「高齢者看護」を行います。認知症・せん妄患者へのケアを奈良県立医科大学附属病院認知症看護認定看護師の池内勝継先生に来ていただきます。池内先生が対応くださった患者さまがとても落ち着いた行動になるのを何度も見てきました。ぜひ、学んでいきたいですね。